

2023年5月26日

AI アルゴリズムの透明性についての論考が 東京大学公共政策大学院のウェブサイトに掲載されました

アフラックデジタルサービス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：二見通）は、当社社員が執筆した、AI アルゴリズムの透明性について—AI によるイノベーションを社会が受容し享受するためのガバナンスのあり方の—提案—に関する論考（共著）が、「東京大学公共政策大学院」に掲載されたことをお知らせします。

【論考要旨の抜粋】

AI アルゴリズムの透明性という最も議論が盛んなガバナンス上の課題について、俯瞰的、体系的な整理に挑戦し、実践的なツールキットを提案しています。提案されたツールキットは、各国の規制当局の議論のみならず、様々な AI アルゴリズムが生み出す新たなリスク事象を幅広く考慮し、さらには AI アルゴリズムに関する先行研究を踏まえながら、体系的な開示事項・事例集として使えるよう構成しました。また、事業者が透明性の程度を工夫することで、社会における信頼性のみならず AI アルゴリズムを組み込んだプロダクトへの満足度など異なる指標にも良い影響が与えられる観点を取り込んでいます。

論考タイトル：「AI アルゴリズムの透明性について—AI によるイノベーションを社会が受容し享受するためのガバナンスのあり方の—提案—」

著者：結城 東輝、岡本 昌之、村山 拓、矢島 桐人¹、西垣 裕太

論考掲載ページ：<https://www.pp.u-tokyo.ac.jp/cregg/program/expert/report.html>

当社はこれからも、デジタルテクノロジーとデータの活用と通じて、保険の枠を超えた新たな体験価値を提供し、社会的課題の解決に貢献するにあたり、AI アルゴリズムの透明性確保といったガバナンスにも配慮したサービス提供を心掛けて参ります。

¹ 当社社員